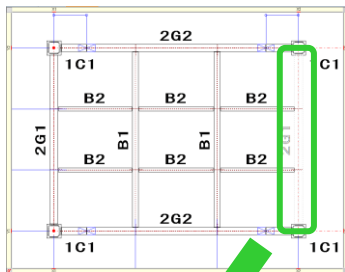


既存の柱や梁に接続するガセットを入力したい！ ダミー部材を使用することで入力が可能です

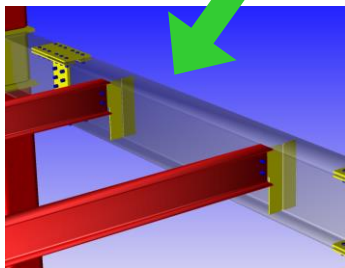
【本体】 - 【梁】 - 【入力】 または 【修正】 にて入力シートの【部品種類】を「2-ダミー」に変更します。

既存の柱も同様に部品種類を「2-ダミー」に変更します。



項目名	設定値
符号名	【符号管理】
部材名	B2
サイズ	H-200x100x5.5x8
部材向き	5 - 縦
配置基準	1 - 部材芯
配置基準(側面)	2 - 上側
上下基準	2 - 階上下(鉄骨ライン)
上下数値	0
奥行き数値(側面)	0
斜め	1 - (垂直(梁))パラメータ参照
部品種類	2 - ダミー
継手距離	0
継手(左)	(BJ20)マスター参照
すきま(左)	(10)マスター参照
ハンチWEB基準	1 - (マスター)自動決定
垂直ハンチ合わせ	1 - 自動
右側	
継手距離	0

項目名	設定値
符号名	【符号管理】
部材名	2C1
サイズ	□-300x300x16
サイズ(T1)	
サイズ(T2)	
配置基準	5 - 中中
角度	0
ずれ量X	0
ずれ量Y	0
カラー	<無>
女配ID	<自動設定>
セトリックID	<自動設定>
部材反転	1 - 反転なし
部品種類	2 - ダミー
メモ	
継手	(W=<無>, F=<無>)マスター参照
すきま	マスター参照
上側	
上継手距離	0
下側	
下継手距離	0
継手距離 階高参照	2 - あり
アンカーベース	

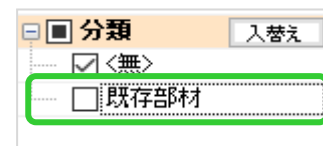
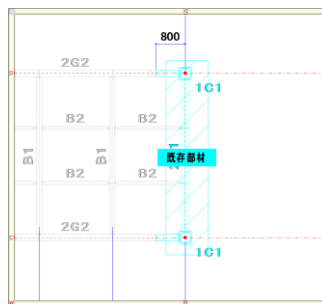
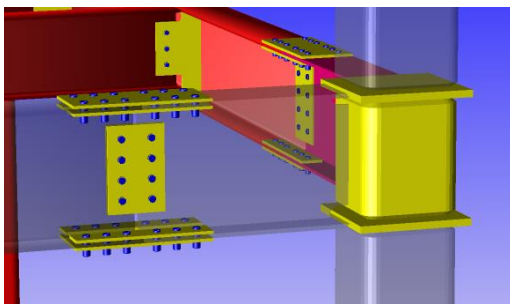


ダミー部材につくガセットを入力することが出来ます。



既存の柱をダミーにした場合、シャフトはダミーになりますが、コア部分はダミーになりません。

また、既存の梁もスプライスが不要な場合は【工区・塗装】の【分類】や【グループ】を利用することで既設の部材を加工図や型紙出力時に対象から外すことが出来ます。



ダミー部材として入力した既存の柱や梁を図面に作図したい場合はパラメーターにて設定が可能です。

例) 梁伏図へのダミー部材表示方法

図面作成 - 5.梁伏図 - 94) ダミー部材作図 (軸組図・鉄骨詳細図・胴縁軸組図でも設定が可能です。)

図面作成	加工図作成	データ作成	二次部材作成	データ連動
1 用紙	2 マーク・寸法線	3 3通り	4 アンカープラン図	5 軸組図
6 継手基準図	7 継手基準図	8 詳細図全般	9 柱詳細図	10 階柱詳細図
11 梁詳細図				

項目名称	設定値
91 梁センターライン	1 - なし
92 梁センターライン位置	2 - 接続先交点
93 梁部材厚ライン	3 - 非対象部材のみ
94 ダミー部材作図	2 - あり
95 フラスト位置	
96 リストサイズ名称 (mm)	25
97 リストサイズ部材 (mm)	30
98 リストサイズ継手 (mm)	30
99 リストサイズ備考 (mm)	30
100 リスト行間隔 (mm)	0

1.なし

2.あり

